

## 【自転車事故による救急統計について】

改正道路交通法の施行により、2023年4月1日からすべての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化となり1年が経過したことから、管内における自転車事故による救急統計をまとめましたのでお知らせします。

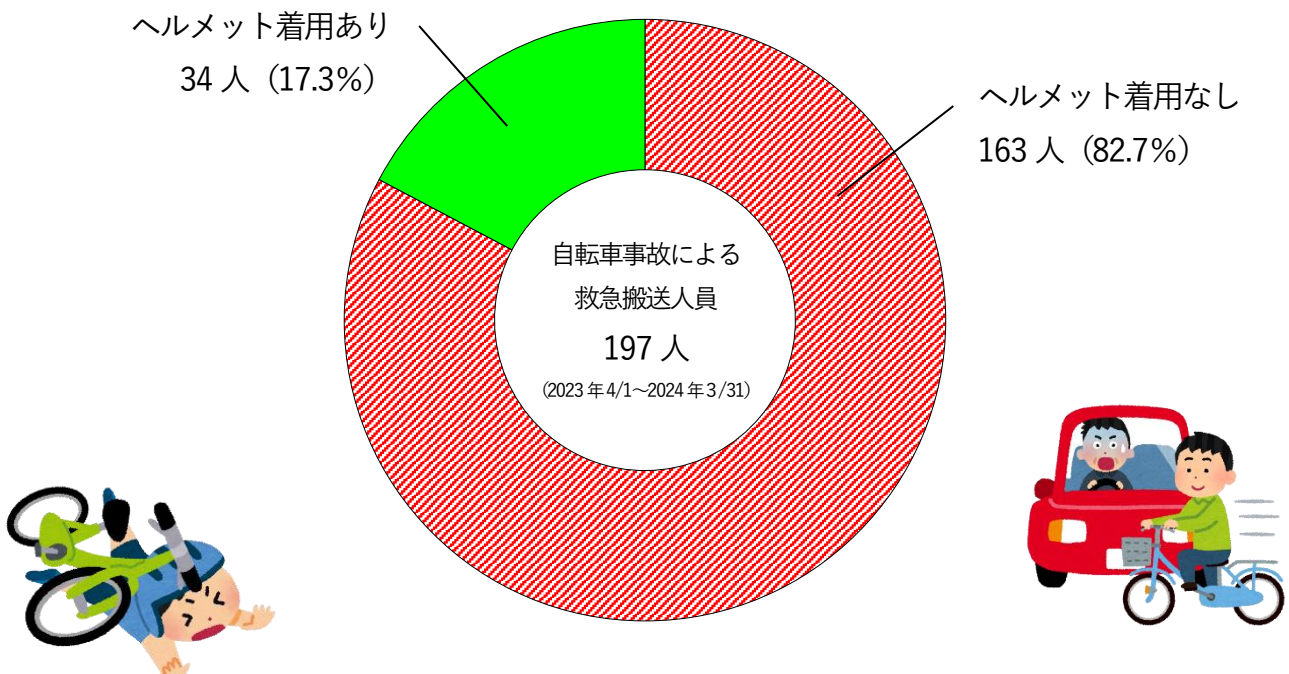
※ 救急搬送人員は、現場処置等により不搬送となった者を含む。

※ 小数点を含むものは、小数第二位を四捨五入した数値で表記。

### ■ 自転車事故による救急事故におけるヘルメットの着用率

郡山地方広域消防組合管内では、2023年4月1日から2024年3月31日までの期間（令和5年度）に、自転車事故による怪我で197人が救急搬送されています。（現場処置による不搬送も含む）

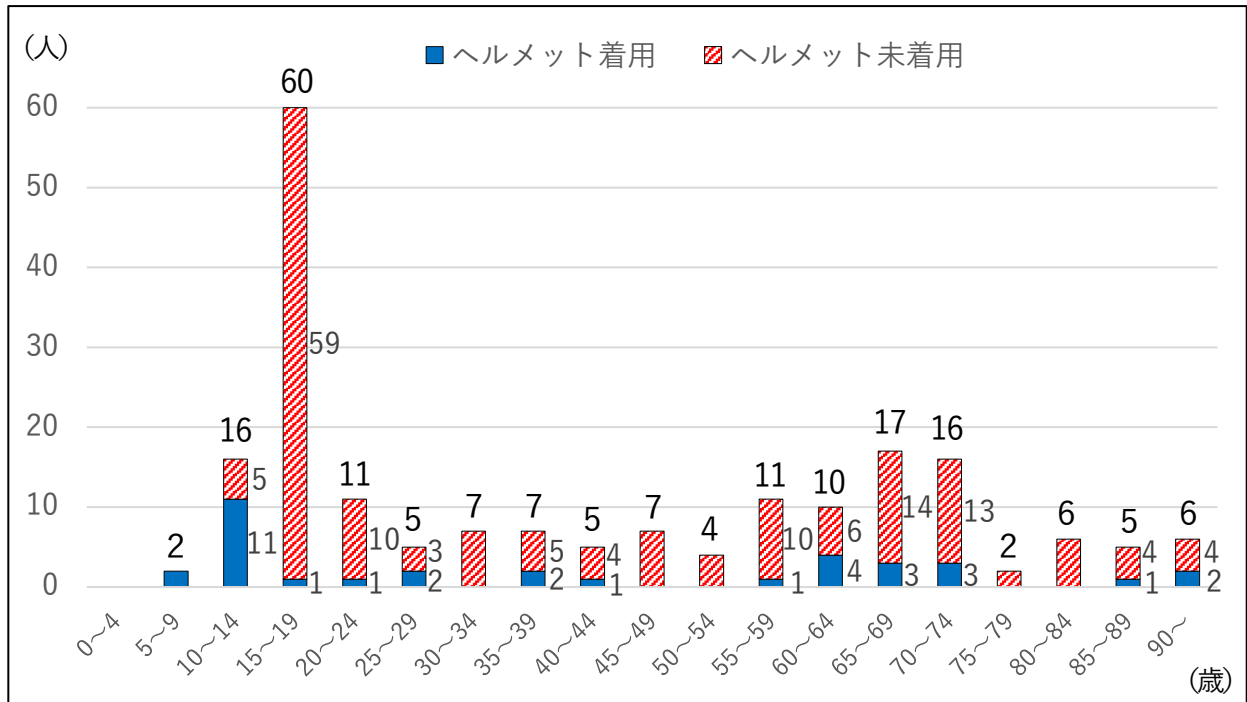
このうち事故発生時に「ヘルメット着用なし」が163人（82.7%）、「ヘルメット着用あり」が34人（17.3%）でした。



■ 年齢区分別の救急搬送人員とヘルメット着用の有無

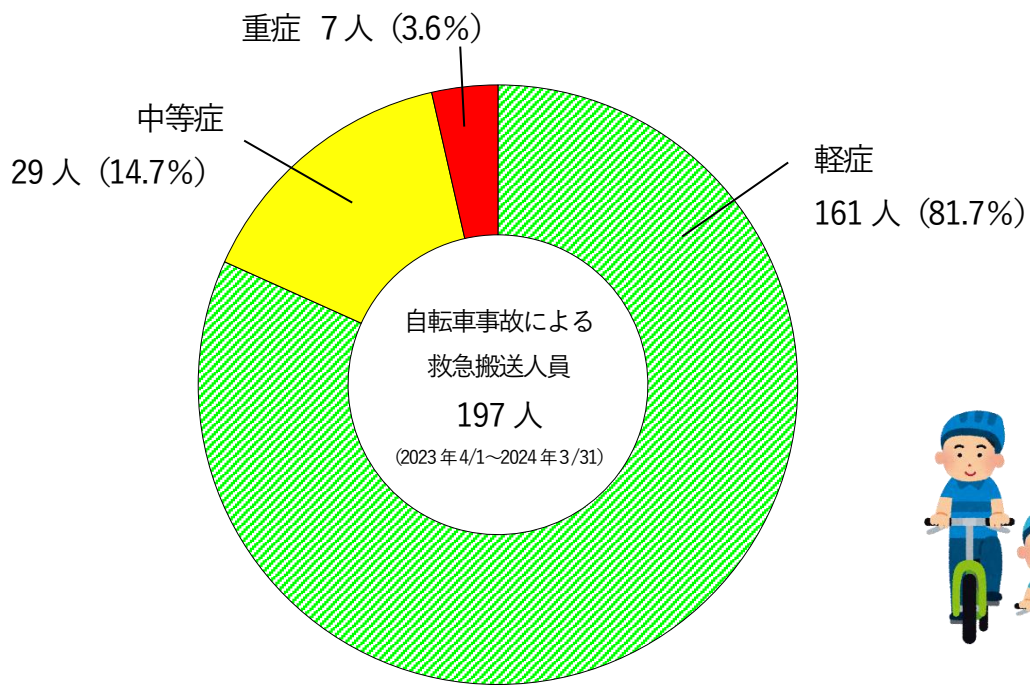
年齢区分別の救急搬送人員をみると、「15 から 19 歳」が最も多く 60 人（30.5%）、次いで「65 から 69 歳」が 17 人（8.6%）、「10 から 14 歳」と「70 から 74 歳」がそれぞれ 16 人（8.1%）と続きます。

一方でヘルメットの着用の有無をみると、最も多く救急搬送されている「15 から 19 歳」で着用していたのは 1 人のみで着用率は 1.7%でした。



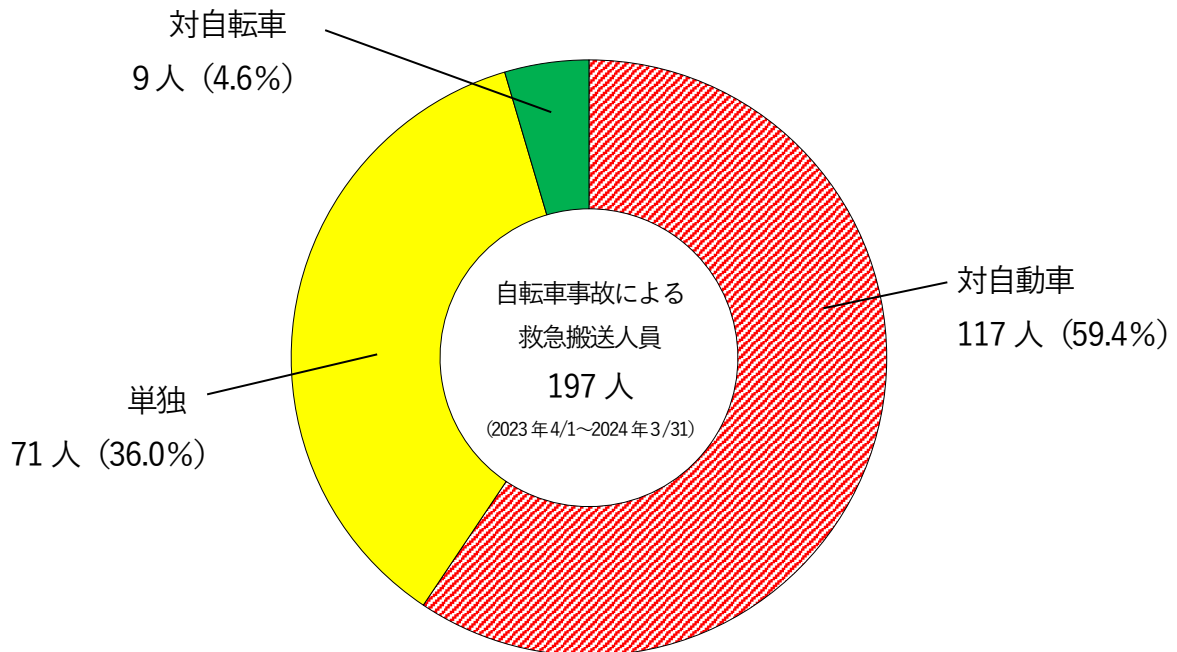
■ 傷病程度別の救急搬送人員

傷病程度別の救急搬送人員をみると、「軽症」が 161 人（81.7%）、「中等症」が（14.7%）、「重症」が 7 人（3.6%）となりました。



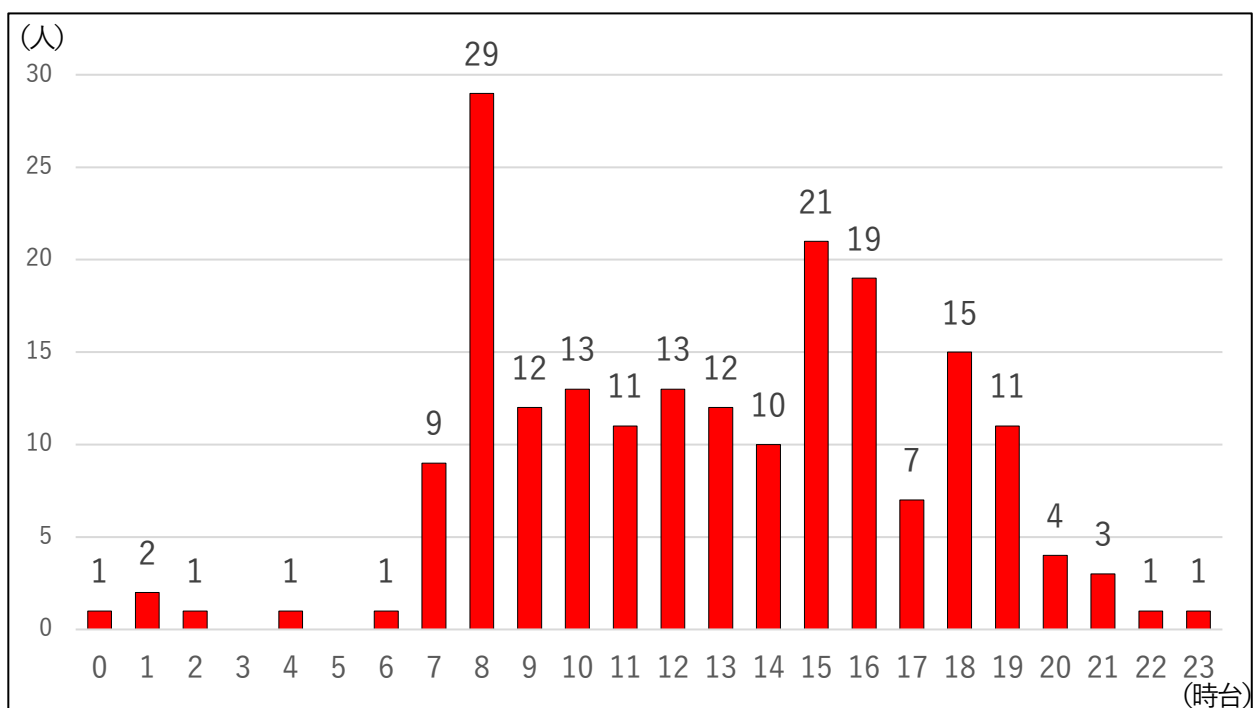
■ 事故形態別の救急搬送人員

事故形態別の救急搬送人員をみると「対自動車」の事故が117人（59.4%）で最も多く、次いで「単独」事故が71人（36.0%）、「対自転車」の事故が9人（4.6%）でした。



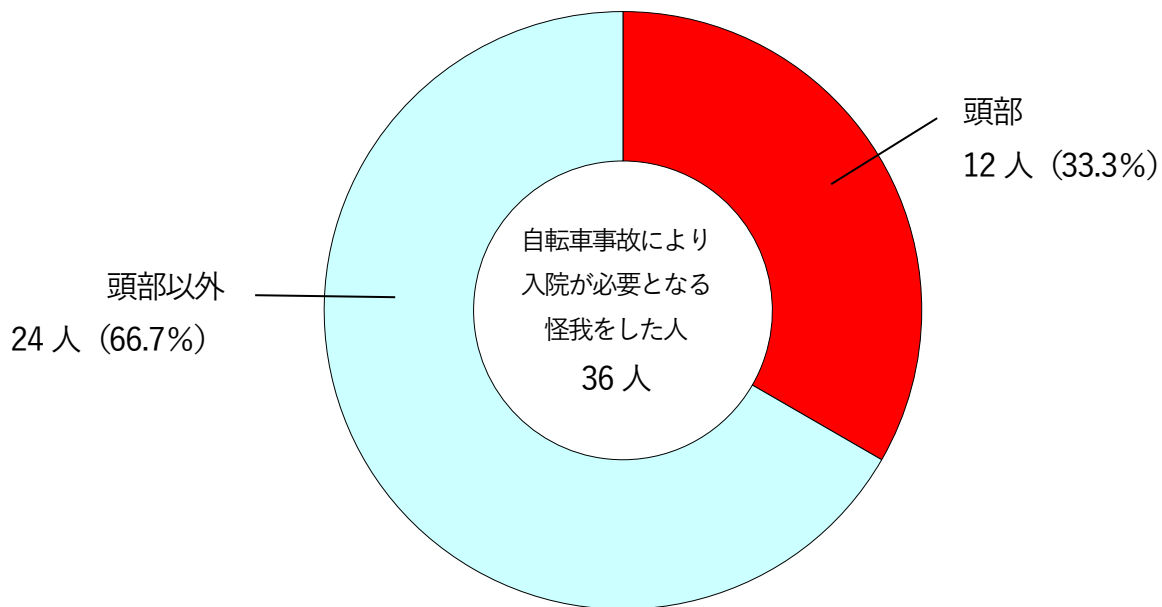
■ 時間帯別の救急搬送人員

時間帯別の救急搬送人員をみると、「8時台」が29人（14.7%）で最も多く、次いで「15時台」が21人（10.7%）、「16時台」が19人（9.6%）と続きます。



■ 入院が必要な「中等症」「重症」の頭部の怪我の割合

入院が必要な怪我をした場合の怪我の部位をみると、33.3%（12人）が頭部の怪我をしていることが分かります。



■ 入院が必要な「中等症」「重症」の骨折等の割合

入院が必要な怪我をした場合の骨折等（骨折の他、頭部の内出血）の割合をみると、52.8%（19人）であることが分かります。

